

経営健全化方針に基づく取組状況（令和6年度）

○法人名：味ロジ株式会社

○経営健全化方針を策定した理由

債務超過額が806,014円発生したため、策定したもの。

○財政的リスクの状況

（単位：千円）

	平成29年度 決算	平成30年度 決算	令和元年度 決算	令和2年度 決算	令和3年度 決算	令和4年度 決算	令和5年度 決算	目標達成年度 (令和5年度)
債務超過額	806	△3,218	△3,354	△3,381	2,181	5,111	5,700	△4,000

○経営状況

- ・価格の見直しを行ったが、人件費、原材料費、物価変動及びエネルギー価格の高騰等により、個々の商品の利益率が低下している。
- ・果樹（杏・りんご）の凍霜害及びねずみ大根の高温障害により、収量が大幅に低下したことに伴い、主力商品の原材料が不足し減産を余儀なくされた。また、それに付随して、売上額も大幅に減少した。
- ・新型コロナウイルス感染症の5類移行に伴い、各種イベントが再開されたため、積極的に出店をした結果、イベントでの売上は回復傾向にある。
- ・社員全員が製造コストを意識し、経費の圧縮及び適正価格での販売に努めているが、累積債務超過額の圧縮には至っていない。

○主な取組状況（令和6年3月現在）

【法人自らによる経営健全化のための具体的な対応】

- ・製造工程及び組織体制を見直し、採算性の低い部門を休止、部門連携を図り経費削減と業務改善を進めた。
- ・原材料「ばななこしょう」を一部生産、また安価で仕入れ確保した。
- ・キャッシュフローを見直して資金調達を行い、支払期日の変更を行った。
- ・各商品の原価計算と仕入れ価格の見直しを行った。
- ・販路（取扱店舗）の新規開拓を行うとともに、季節商品の開発や各種イベントで出展販売を行った。

【町による財政的なリスクへの対処のための対応】

- ・毎月当該法人の部門別事業状況を把握し分析、事業運営について関係者と協議した。
- ・定例の社内会議、取締役会に関係職員が出席し、適時、経営状況の把握及び必要に応じて助言を行った。
- ・施設備品の更新及びイベント出展や商品販売を支援した。

○法人の財務状況

(貸借対照表から)

(単位：円)

	令和3年度決算	令和4年度決算	令和5年度決算
資産総額	10,211,345	7,582,885	9,298,393
（うち現預金）	4,189,116	2,451,345	2,599,957
（うち売掛金）	282,266	632,866	1,108,551
（うち商品）	2,645,760	1,671,759	1,926,026
負債総額	12,392,926	12,694,681	14,998,876
（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0	0
純資産額	△ 2,181,581	△ 5,111,796	△ 5,700,483

(損益計算書から)

(単位：円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
売上高	24,082,197	29,728,474	28,299,627
営業費用	30,196,068	33,372,313	28,956,942
営業外収益	709,608	869,034	218,742
営業外費用	159,150	155,410	150,114
当期純利益	△ 5,563,413	△ 2,930,215	△ 588,687